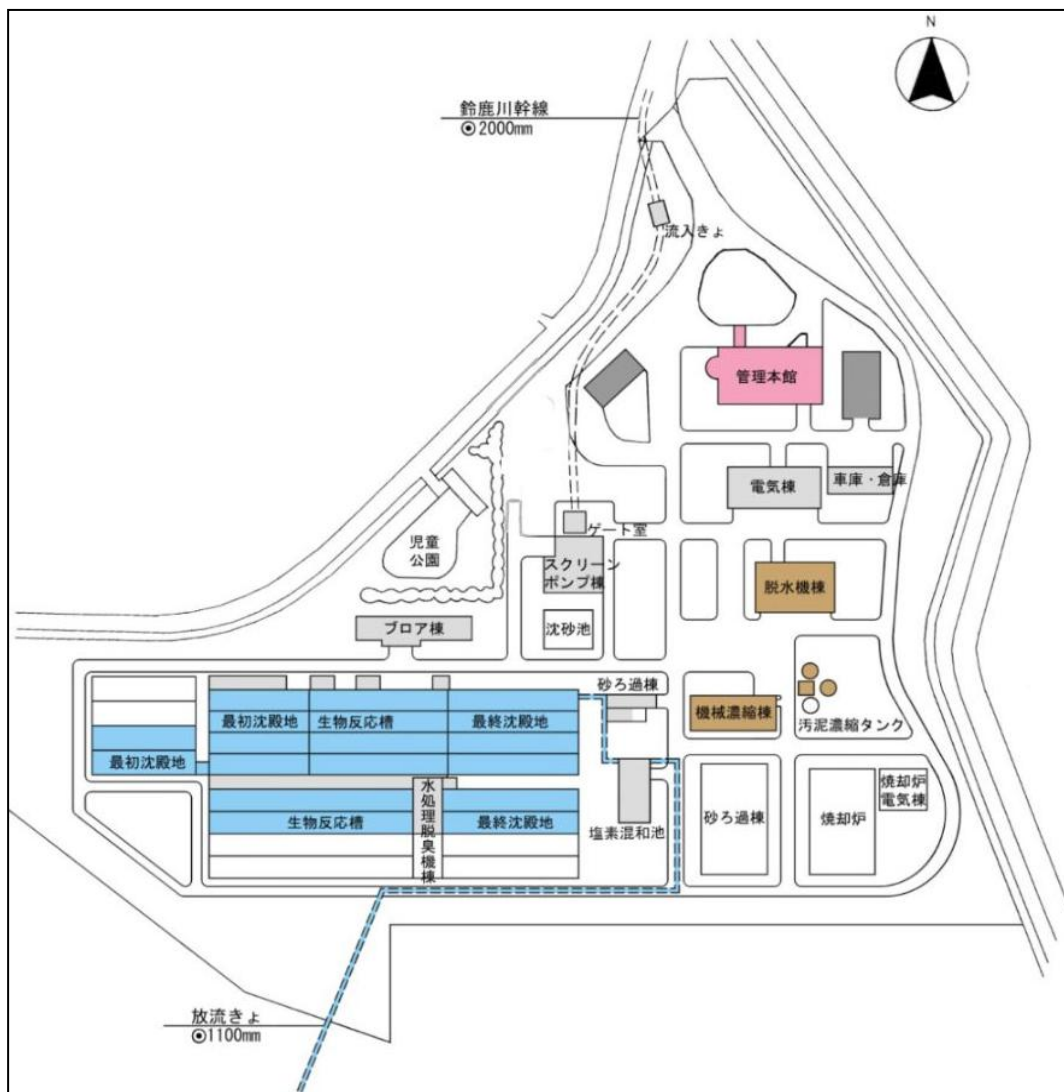


北勢沿岸流域下水道（南部処理区）

南部浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1)南部浄化センター施設配置図



(陸地部60,000m³/日最大)

計画概要

項目	区分	全体計画	認可計画(H21.5.29)
処理区域面積(ha)		7,310.3	3,455.38
処理区域内人口(人)		229,300	120,800
処理能力(m ³ /日最大)		135,000	78,800
処理方法		標準法(疑似2段嫌気好気法) 嫌気無酸素好気法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		19.67	19.67

経過の概要

S60.5.10	北勢沿岸流域下水道南部処理分区都市計画決定
62.11.26	同下水道法による事業認可
62.12.11	同都市計画法による事業認可
H2.4.1	幹線管渠工事着手
4.4.1	浄化センター建設着手
8.1.1	供用開始(三重郡楠町の一部)
8.1.15	供用開始(鈴鹿市の一部)
8.1.21	供用開始記念式典及び記念イベント
8.9.26	供用開始(四日市市の一部)
13.4.1	供用開始(亀山市の一部)
14.10.1	供用開始(鈴鹿郡関町の一部)
17.1.1	亀山市と鈴鹿郡関町が合併し、亀山市となる。
17.2.7	四日市市と三重郡楠町が合併し、四日市市となる。

市町村別の内訳

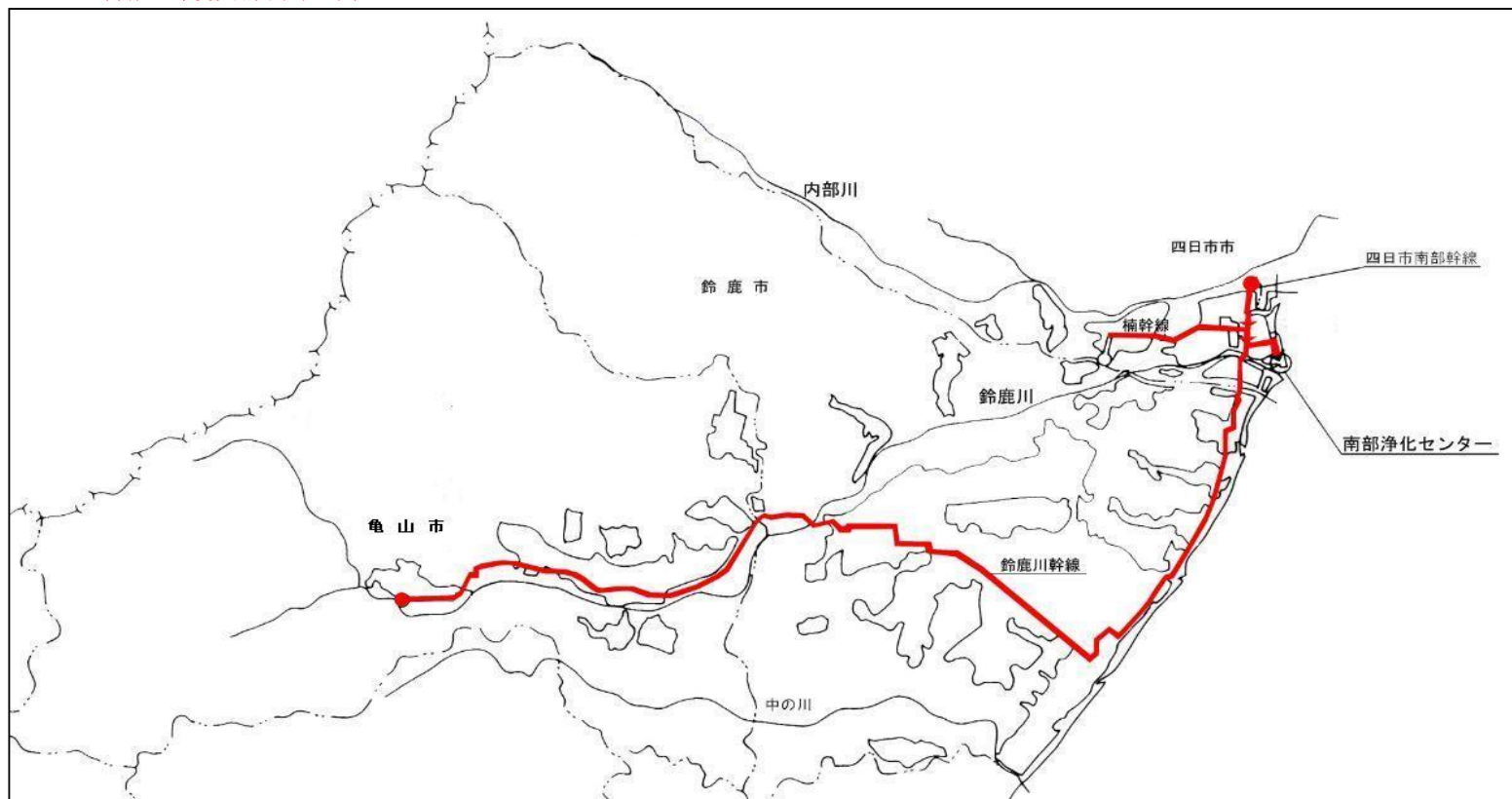
市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口	計画処理水量(m ³ /日最大)
四日市市	725.3	22,400	13,157
鈴鹿市	4,700.0	167,400	97,264
亀山市	1,885.0	39,500	24,108
3市計	7,310.3	229,300	134,529

(2) 南部処理区幹線管渠状況図

(供用開始延長:累計延長)

3 幹線	管径300~2,000mm	総延長 39,406m
------	---------------	-------------

(平成22年度供用開始率98%)



[四日市南部幹線]

管径(mm)	延長(m)	H7年度	13
300~350	1,096	(45.9%)	(100%)
		505	1,096

[桶幹線]

管径(mm)	延長(m)	H7年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
400~1,000	5,000	(70.3%)	3,516	同左	(70.3%)	(72.8%)	同左	(85.5%)	(85.5%)	(85.6%)	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
					3,517	3,640		4,273	同左	4,274							

[鈴鹿川幹線]

管径(mm)	延長(m)	H7年度	8	9	10	11	12	13	14	15
300~2,000	33,310	(15.2%)		(37.5%)	(47.0%)	(59.4%)	(80.0%)	(90.0%)	(97.9%)	(100%)
		5,060	同左	12,490	15,665	19,779	26,575	30,783	32,600	33,310

(3) 施設計画と現況

形状区分 名称	形状寸法	全体計画	平成22年度現在		
			土木建築	機械電気	適用
スクリーン	水路幅 2.0m	2水路	2水路	2水路	
主ポンプ	8.0m ³ /min 2台	—	—	2台	
	12.5m ³ /min 6台(内予備1台)	6台	—	5台	
最初沈殿池	L=30.6m W= 7.6m 有効水深= 3.0m	4池	4池	4池	
	L=28.6m W= 8.6m 有効水深= 3.0m	4池	2池	2池	
生物反応槽	L=48.0m W= 7.5m 有効水深= 5.5m	4池	4池	4池	
	L=82.5m W= 8.5m 有効水深=10.0m	4池	2池	2池	
最終沈殿池	L=41.8m W= 7.6m 有効水深= 2.6m	4池	4池	4池	
	(上層)L=32.35m W= 8.5m 有効水深= 3.5m (下層)L=38.60m W= 8.5m 有効水深= 3.5m	4池	2池	2池	
塩素混和池	L=100.0m W=2.5m 有効水深=2.5m	1池	1池	—	
次亜塩素酸 ナトリウムタンク	3m ³	3槽	—	3槽	
紫外線消毒装置	開水路設置型 30,000m ³ /日/池(時間最大)	3水路	1水路	1水路	
放流渠	L=260m φ 1,100mm	260m	260m	—	
送風機	20m ³ /min 2台(ルーツ)	2台	—	2台	
	40m ³ /min 2台(単段ターボ)	2台	—	2台	
	80m ³ /min 2台(単段ターボ)	2台	—	1台	
重力濃縮槽	φ 6.6m 有効水深=4.0m	3槽	3槽	2槽	
機械濃縮設備	常圧浮上 4m ² 25kgDS/m ² ・h	3台	—	3台	
脱水機	ベルトプレス ろ布幅=2.5m 120kgDS/m・h	1台	—	1台	
	ベルトプレス ろ布幅=3.0m 130kgDS/m・h	2台	—	2台	
自家発電機	ガスタービン 625kVA	1台	—	1台	
	ガスタービン 1,000kVA	1台	—	1台	
場内用水設備	上向流移床式砂ろ過装置 600 ~ 900m ³ /日	3台	—	3台	
幹線管渠	φ 300 ~ 2,000mm	39.4km	38.7km	—	

(4)設備概要

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
ゲート室	流入ゲート		制水扉 W=1,000 × H=1,000 電動式バルブコントローラ	3.7	2
	脱臭設備	活性炭吸着塔	立型カートリッジ式 W=1,100 × L=1,100 × H=2,500 処理能力10m ³ /min	—	1
		脱臭ファン	ターボファン 10m ³ /min	1.5	1
		脱臭用チェーンブロック	ギヤードトリ付 2.0t	—	1
その他	電動ホイスト	電動式 1.0t	1.5+0.4	1	
スクリーンポンプ棟	スクリーン設備	粗目スクリーン	バースクリーン W=2,000 有効目幅=100mm	—	2
		細目自動除塵機	連続式 W=2,000 有効目幅=20mm	2.2	1
		自動除塵機	間欠式前面掻揚型 W=2,000 有効目幅=50mm	1.5	1
		スクリーンかす搬出機	ベルトコンベア No.1;W=600 × L=10,900	1.5	1
			ベルトコンベア No.2;W=600 × L=6,300	1.5	1
		スクリーンかす洗浄装置	機械攪拌式 1m ³ /h	3.7+0.75	1
		スクリーンかす脱水機	スクリュウ式 1m ³ /h	5.5+0.4	1
		スクリーンかすスキップホイスト	電動式 0.2m ³	2.2	1
		スクリーンかすホッパ	電動式 3m ³	0.75 × 2	1
		ポンプ井仕切ゲート	手動式 W=1,000 × H=1,000	—	1
	流出ゲート	手動式 W=1,000 × H=1,000	—	2	
	ポンプ井攪拌機	水中攪拌機	1.1	2	
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2	
	ポンプ設備	主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ フライホイール付 VVF制御 φ 350 × 12.5m ³ /min × 25m	90	2
			立軸渦巻斜流ポンプ フライホイール付 φ 350 × 12.5m ³ /min × 25m	90	3
		主ポンプ吐出弁	電動式 φ 350	0.75	5
		主ポンプ吐出弁	手動式 φ 350	—	2
		水中汚水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 200 × 8.0m ³ /min × 26m	55	2
		ポンプ井排水ポンプ	吸込スクリュウ付汚泥ポンプ φ 150 × 2m ³ /min × 6m	5.5	1
		床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2
脱臭設備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式 W=1,440 × L=2,380 × H=2,800 処理風量 40m ³ /min	—	1	
	脱臭ファン	ターボファン 40m ³ /min	3.7	1	
	脱臭用チェーンブロック	ギヤードトリ付 1.0t	—	1	
その他	点検用クレーン	手動式天井クレーン 3.0t	—	1	
	水中ポンプ用チェーンブロック	手動式 2.0t	—	1	
	搬入用チェーンブロック	ギヤードトリ付 3.0t	—	1	

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数	
最初沈殿池	水 処 理 設 備	分配槽可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=500 × H=600	—	2	
			手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=1,000 × H=600	—	2	
		分配槽連絡ゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=800 × H=800	—	1	
		分配槽初沈バイパスゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=800 × H=600	—	3	
		初沈流入可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=400	—	12	
		初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 1連1駆動	0.75	2	
			チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 2連1駆動	1.5	1	
			チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 2連1駆動(樹脂製)	0.4	4	
		初沈スカムスキマー	電動式パイプスキマー φ 250 × L=3,300	0.2	8	
			電動式パイプスキマー φ 250 × L=3,800	0.2	4	
		初沈汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁 φ 150	—	12	
		初沈汚泥ポンプ	ハイドロスクリュポンプ φ 100-100 × 0.9m ³ /min × 10m	3.7	2	
			ハイドロスクリュポンプ φ 100-80 × 0.9m ³ /min × 9m	5.5	2	
		スカム移送ポンプ	ハイドロスクリュポンプ φ 100-100 × 0.9m ³ /min × 12m	5.5	2	
			ハイドロスクリュポンプ φ 100-80 × 0.9m ³ /min × 10m	5.5	2	
		初沈池排水ポンプ	ハイドロスクリュポンプ φ 100-100 × 0.9m ³ /min × 5m	3.7	1	
			ハイドロスクリュポンプ φ 100-80 × 0.9m ³ /min × 7m	3.7	1	
		バイパスゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=750 × H=750	—	1	
			手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=600	—	2	
		初沈流入水路散気装置	固定式多孔管 500L/min	—	11	
		初沈流入水路消泡装置	ウエイト式スプレーノズル 8L/min	—	10	
		床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	4	
		空気源装置	圧力開閉式 400L/min × 0.85MPa	3.7	2	
		除湿器	冷凍式 830L/min (100V)	0.32	1	
		その他	初沈搬入用チェーンブロック	ギヤードトリ付 1.0t	—	1

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
生物反応槽	水処理設備	生物反応槽連絡ゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=600	—	2
		生物反応槽流入ゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=600	—	6
		全量投入可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=1,200 × H=500	—	6
		ステップ投入可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=800 × H=500	—	6
		返送汚泥投入可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=500 × H=500	—	6
		生物反応槽消泡装置	ウエイト式スプレーノズル 8L/min	—	284
		循環ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 150 × 3.0m ³ /min × 7.3m	7.5	2
		循環ポンプ	ハイドロスクリュポンプ φ 300 × 10.6m ³ /min × 7m	30	3
		風量調整弁	空気作動蝶形弁 φ 250	—	4
			空気作動蝶形弁 φ 350	—	2
		生物反応槽攪拌機	(I系嫌気槽)水中機械式攪拌機 3.5m ³ /min 可変速	3.7	4
			(I系好気槽)水中機械式攪拌機 7.0m ³ /min	5.5	8
			(II系嫌気槽)水中機械式攪拌機 1.3m ³ /min 可変速	2.2	2
			(II系無酸素槽)水中機械式攪拌機 2.7m ³ /min 可変速	3.7	4
			(II系好気槽)水中機械式攪拌機 3.4m ³ /min 可変速	3.7	6
			(III系嫌気槽)水中機械式攪拌機 9.0m ³ /min	5.5	2
			(III系無酸素槽)水中機械式攪拌機 12.0m ³ /min	7.5	6
		凝集剤貯留タンク	(III系好気槽)水中機械式攪拌機 9.2m ³ /min 可変速	11	8
			FRP製円筒形タンク 12m ³	—	1
	凝集剤注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ 0.3L/min	0.2	2	
		ダイヤフラム式定量ポンプ 0.6L/min	0.2	1	
		ダイヤフラム式定量ポンプ 2.0L/min	0.2	1	
	返送汚泥水路散気装置	固定式多孔管 500L/min	—	3	
返送汚泥水路消泡装置	ウエイト式スプレーノズル 8L/min	—	10		
床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	4		
	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 11m	1.5	2		
その他	搬出入用チェーンブロック	ギヤードロリ付 キャスター門型レール付 1.0t	0.9	1	
		ギヤードロリ付 キャスター門型レール付 2.0t	1.5	1	

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
最終沈殿池	水処理設備	終沈流入水路スカム対策装置	ウエイト式スプレーノズル 8L/min	—	16
		終沈連絡ゲート	手動式鋳鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=600	—	1
		終沈流入ゲート	手動式鋳鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=400	—	8
			手動式鋳鉄製角形外ねじ式 W=600 × H=700	—	4
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 1連1駆動	0.75	2
			チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 2連1駆動	1.5	1
			チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.6m/min 2連1駆動(樹脂製)	0.4	6
		終沈スカムスキマー	電動式パイプスキマー φ 250 × L=2,200	0.2	4
			電動式パイプスキマー φ 250 × L=3,300	0.2	8
			電動式パイプスキマー φ 250 × L=3,700	0.2	4
		返送汚泥ポンプ	ハイドロスクリュウポンプ φ 200 × 4.1m ³ /min × 5m	7.5	4
			ハイドロスクリュウポンプ φ 250 × 5.5m ³ /min × 7m	15	2
			ハイドロスクリュウポンプ φ 300 × 11.0m ³ /min × 7m	30	1
		余剰汚泥引抜弁	空気作動式偏心構造弁 φ 150	—	2
		余剰汚泥ポンプ	ハイドロスクリュウポンプ φ 100 × 0.9m ³ /min × 10m	3.7	4
		終沈スカム移送ポンプ	吸込スクルー付水中ポンプ φ 100 × 1.0m ³ /min × 5m	2.2	2
		終沈池排水ポンプ	ハイドロスクリュウポンプ φ 150 × 2.0m ³ /min × 6m	7.5	1
			ハイドロスクリュウポンプ φ 200 × 4.8m ³ /min × 12m	18.5	1
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2	
		水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 12m	2.2	2	
その他	終沈スカム移送ポンプ用チェーンブロック	自立型ジブクレーン 1.0t	—	1	
	終沈搬入用チェーンブロック	ギヤードトオリ付 1.0t	—	2	

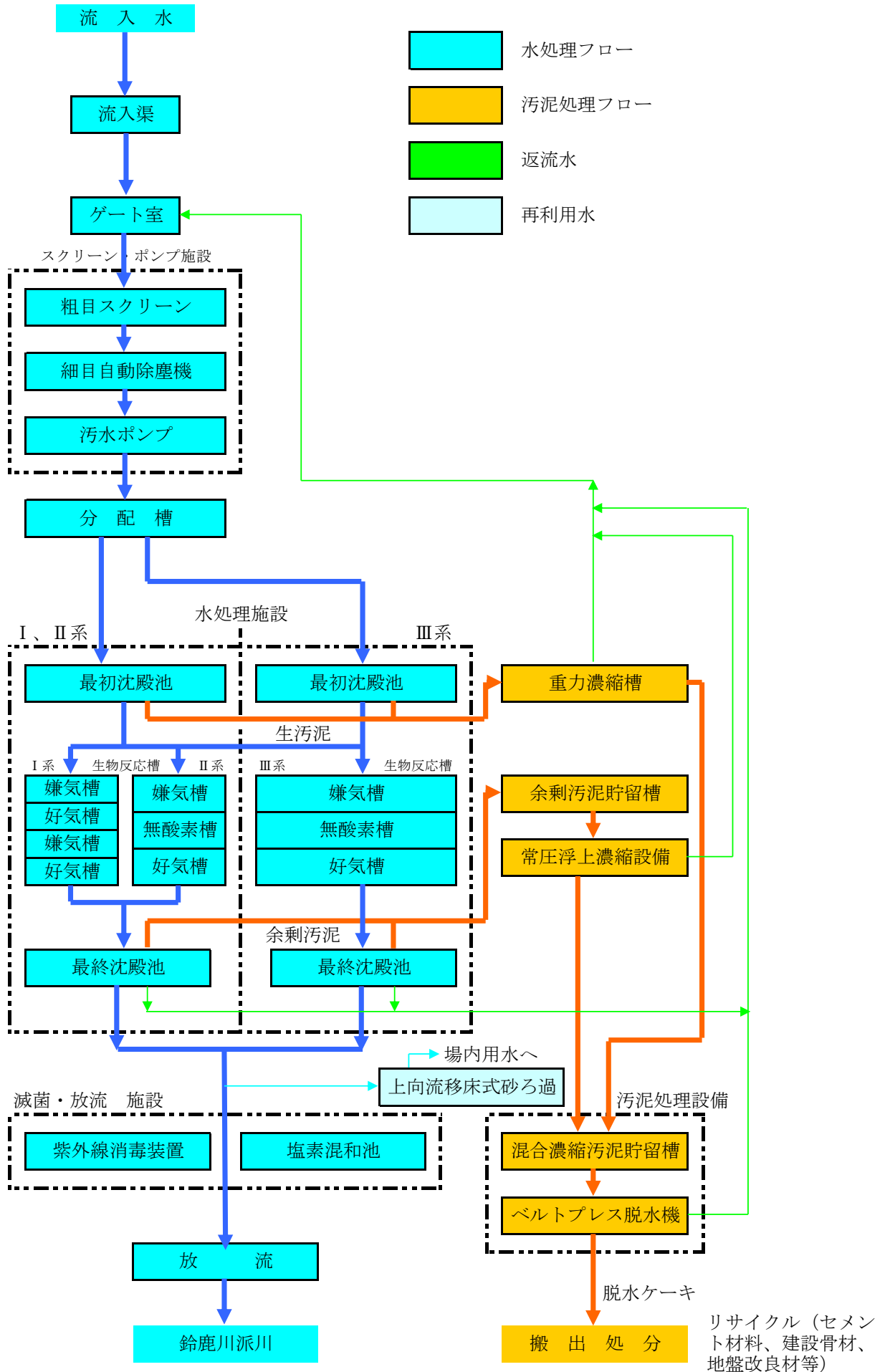
施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
水処理機械棟	脱臭設備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式 W=1,600 × L=3,200 × H=2,600	—	2
		脱臭ファン	ターボファン 60m ³ /min	5.5	2
		脱臭用チェーンブロック	ギヤードロリ付 1.0t	—	2
水処理脱臭機械棟	脱臭設備	活性炭吸着塔	立形カートリッジ式 W=3,200 × L=3,200 × H=2,800	—	1
		脱臭ファン	ターボファン 130m ³ /min	7.5	1
		脱臭用クレーン	サスペンション型 1t	—	1
フロア棟	フロア設備	送風機	ルーツ型20m ³ /min × 60.8kpa φ 150	37	2
			単段増速型40m ³ /min × 60.8kpa φ 200	75	2
			単段増速型80m ³ /min × 60.8kpa φ 300	120	1
		送風機用吐出弁	電動仕切弁 φ 200	0.4	2
		送風機用吐出弁	電動仕切弁 φ 250	0.4	1
		送風機用放風弁	電油式バタフライ弁 φ 100	0.2	2
		送風機用放風弁	電油式バタフライ弁 φ 150	0.2	1
		湿式空気濾過器	湿式 150m ³ /min	0.2	1
		乾式空気濾過器	乾式 150m ³ /min	0.2	1
		冷却水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 50 × 0.3m ³ /min × 20m	3.7	2
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2	
その他	点検用クレーン	サスペンション型 2.8t	—	1	
砂ろ過棟	場内用水設備等	砂ろ過器	上向流移床式 500m ³ /日	—	1
			上向流移床式 600 ~ 900m ³ /日	—	2
		原水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 65 × φ 50 × 0.4 m ³ /min × 15m	2.2	2
			片吸込渦巻ポンプ φ 65 × φ 50 × 0.63m ³ /min × 18m	3.7	2
		原水用ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 80 × 0.5 m ³ /min	0.4	1
			自動洗浄ストレーナ φ 100 × 0.63m ³ /min	0.4	2
		消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100 × φ 80 × 1.3 m ³ /min × 25m	11	2
			片吸込渦巻ポンプ φ 150 × φ 125 × 3.4 m ³ /min × 29m	30	1
		消泡水用ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 150 × 2.0 m ³ /min	0.75	1
			自動洗浄ストレーナ φ 200 × 3.4 m ³ /min	0.4	1
		終沈用消泡ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100 × φ 80 × 1.0 m ³ /min × 23m	7.5	1
		終沈用消泡水ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 100 × 1.0 m ³ /min	0.4	1
		ろ過水給水ユニット	圧力タンク付給水ユニット φ 50 × 0.3m ³ /min × 0.3MPa	3.7 × 2	2
		ろ過水送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100 × φ 80 × 0.8m ³ /min × 10m	3.7	3
	空気源装置	圧力開閉式 400L/min × 0.85MPa	3.7	2	
床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2		
その他	搬出入用チェーンブロック	ギヤードロリ付 1.0t	—	1	

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
塩素混和池	消毒設備	塩混流入ゲート	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=1,200 × H=1,200	—	1
		次亜塩貯留タンク	FRP製 円筒形 3.0m ³	—	3
		次亜塩注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ φ 15 × 0.3L/min × 0.5MPa	0.4	2
			ダイヤフラム式定量ポンプ φ 25 × 0.6L/min × 0.5MPa	0.2	3
	給水設備用次亜塩注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ φ 15 × 0.03L/min × 0.5MPa	0.4	2	
	NO1紫外線流入ゲート	FC製電動式角型ゲート	1.5	1	
	NO1紫外線消毒装置	時間最大30,000m ³ /日・水路 開水路型	20	1	
	塩混流出可動堰	FC製電動式角型可動堰	1.5	1	
重力濃縮タンク	重力濃縮設備	汚泥スクリーン	回転スクリーン 1.8m ³ /min	0.4	1
		分配槽可動堰	手動式鑄鉄製角形外ねじ式 W=400 × H=400	—	3
		汚泥掻寄機	中心駆動懸垂形 φ 6,600	0.4	2
		汚泥引抜弁	電動偏心構造弁 φ 150	0.2	2
		汚泥引抜ポンプ	ハイドロスクリュポンプ φ 100 × 0.6m ³ /min × 12m	5.5	0
			一軸ねじ式ポンプ φ 125 × 0.6m ³ /min × 12m	7.5	2
		スカム分離機	回転スクリーン 1.8m ³ /min	0.4	1
		スクリーンし渣搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ W=600 × L=2,500	1.5	1
		スクリーンし渣脱水機	二軸対向スクリュュー式 1,200L/h	1.5	1
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	1	
	その他	し渣搬出用チェーンブロック	電動式 ウォール形ジブクレーン 0.5t	0.75	1
搬出入用チェーンブロック	ギヤードトロリ付 1.0t	—	1		

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
脱 水 機 棟	汚 泥 脱 水 設 備	重力濃縮汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 φ 150	—	3
		機械濃縮汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 φ 150	—	3
		汚泥貯留槽攪拌機	立軸パドル形 φ 1,500	7.5	4
		汚泥供給ポンプ	一軸ねじ式ポンプ φ 100 × 20m ³ /h 回転数制御	5.5	3
		汚泥脱水機	ベルトプレス (標準形)ろ布幅 2.5m	3.7	1
			ベルトプレス (高効率形)ろ布幅 3.0m	3.7	2
		ケーキ搬出機	水平トラフ形 W= 600 × L=9,500	1.5	1
			水平トラフ形 W= 600 × L=4,000	1.5	1
			スクリー式 φ 280 × L=9,000	3.7	1
			スクリー式 φ 280 × L=7,500(垂直)	5.5	1
			スクリー式 φ 280 × L=5,250	2.2	1
			スクリー式 φ 315 × L=5,000	4.2	1
		ケーキホツパ	電動式 10m ³	3.7	1
			多軸スクリー式 20m ³	11+5.5+1.5	2
		薬品コンテナ	円筒形 500L	—	4
		薬品定量フィーダー	容積式 2L/min	0.4	1
			可変連続式 0.55~2L/min	0.4	3
		薬品溶解タンク	円筒形 6,000L	3.7	4
		薬品供給ポンプ	一軸ねじ式ポンプ φ 50 × 3 m ³ /h 回転数制御	1.5	2
			一軸ねじ式ポンプ φ 50 × 4 m ³ /h 回転数制御	1.5	2
		ろ過水流入弁	空気作動仕切弁 φ 150	—	1
		圧力給水ユニット	圧力給水ユニット φ 50 × 0.5 m ³ /min × 0.3MPa	3.7 × 2	1
			圧力給水ユニット φ 65 × 0.5 m ³ /min × 0.3MPa	5.5 × 2	1
	ろ布洗浄水ポンプ	片吸込多段渦巻ポンプ φ 50 × 0.3 m ³ /min × 60m	7.5	2	
		片吸込多段渦巻ポンプ φ 65 × 0.45m ³ /min × 80m	15	2	
	空気源装置	圧力開閉式 400L/min × 0.85MPa	3.7	2	
	除湿器	冷凍式 830L/min	0.32	1	
	床排水ポンプ	水中汚水汚物ポンプ(着脱式) φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	4	
	脱 臭 設 備	生物脱臭装置	角形充填塔式 W=2,600 × L=4,000 × H=4,400	—	1
		活性炭吸着塔	立型カートリッジ式 W=1,200 × L=1,200 × H=2,400	—	1
			立型カートリッジ式 W=1,200 × L=2,400 × H=2,100	—	1
		脱臭ファン	ターボファン 20m ³ /min	3.7	1
			ターボファン 35m ³ /min	5.5	1
脱臭用チェーンブロック	ギヤードトロリ付 1.0t	—	2		
脱 臭 設 備 (搬 出 室)	活性炭吸着塔	カートリッジ式 W3,200 × L3,000 × H3,500	—	1	
	脱臭ファン	片吸込ターボファン 130m ³ /min	7.5 × 4	1	
	ミストセパレータ	水平流慣性衝突式 130m ³ /min W830 × L1,250 × H830	—	1	

施設	設備	機 器 名	規 格 又 は 仕 様	電 気 容 量 (kW)	台 数
	その他	点検用クレーン	サスペンション型 2.0t	—	1
		薬品コンテナ搬入用ホイス	電動式 1.0t	2.2+0.2	2
		搬出入用チェーンブロック	ギヤードトリ付 2.0t	—	1
機械濃縮棟	機械濃縮設備	余剰汚泥貯留槽攪拌機	水中プロペラ式 φ 368	1.5	2
		汚泥破砕機	立形2軸回転式 φ 200 × 102m ³ /h	3.7	1
		汚泥供給ポンプ	一軸ねじ式ポンプ φ 125 × 33.5m ³ /h 回転数制御	7.5	4
		常圧浮上濃縮装置	φ 2,400 × 4,500	0.75	3
		濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立形パドル式 φ 1,500	5.5	3
		濃縮汚泥移送ポンプ	一軸ねじ式ポンプ φ 125 × 36m ³ /h 回転数制御	11	2
		機械濃縮汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 φ 150	—	1
		濃縮汚泥移送ポンプ吐出弁	空気作動偏心構造弁 φ 150	—	2
		凝集剤供給機	可変連続定量供給機 0.8L/min	0.4	2
		凝集剤注入ポンプ	一軸ねじ式ポンプ φ 20 × 225L/min 回転数制御	0.4	4
		気泡助剤注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ φ 15 × 125cc/min	0.2	4
		空気源装置	圧力開閉式(除湿器付) 405L/min × 0.93MPa	3.7	2
		床排水ポンプ	水中汚水ポンプ φ 65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2
	脱臭設備	生物脱臭装置	角形充填塔式 W=2,500 × L=2,000 × H=4,500	—	1
		活性炭吸着塔	立形カートリッジ式 W=1,400 × L=1,400 × H=2,100	—	1
		脱臭ファン	ターボファン 25m ³ /min	3.7	1
		脱臭用チェーンブロック	ギヤードトリ付 1.0t	—	1
その他		搬入用チェーンブロック	ギヤードトリ付 2.0t	—	1

(5) 南部浄化センター処理フロー



(6) 水質管理状況

ア 水質管理状況の概況

(ア) 流入水量

(イ) 平成 22 年度における日平均流入水量は、33,620m³ で、平成21年度における日平均流入水量は 32,391m³と比較して 1229m³増加した。過去 5 年間の日平均流入水量の増加量は、978m³(18 年度～19 年度)、2,258m³ (19 年度～20 年度)、4m³ (20 年度～21 年度)、1229m³ (21 年度～22 年度)と なっている。

(ウ) 流入水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん、有害物質)

22 年度における平均流入水質について、BOD、COD、SS、全窒素、全りんの濃度はそれぞれ 130、79、110、29、3.2 mg/ℓであった。

なお、流入水中の有害物質(水質汚濁防止法に定められている項目のうち、人の健康に関わる被害を生じる恐れのある物質) 27 項目の内、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物について最大で 9.2 mg/ℓ検出されたが、水処理に影響を及ぼすことはなかった。又、これ以外の全ての項目については、報告下限値未満であった。

(エ) 放流水質(BOD、COD、SS、全窒素、全りん、有害物質)

22 年度における平均放流水質について、BOD、COD、SS、全窒素、全りんの濃度はそれぞれ 2.2、7.6、2、4.8、0.4 mg/ℓであった。

なお、放流水中の有害物質 27 項目の内、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物について、最大で 4.4 mg/ℓ検出されたが放流基準 100 mg/ℓ以下であった。又これ以外の全ての項目については報告下限値未満であった。

(オ) 放流先の環境保全に係る運転管理

放流先である鈴鹿川の環境保全の観点から、三重県は鈴鹿川浄化対策促進協議会(国の関係機関、三重県、流域市町村で構成)と下水道終末処理施設に係る覚書を締結している。このため、高度処理である嫌気無酸素好気法(A2O法)及び2段嫌気好気法(2段AO法)による下水処理を行い、厳しい覚書の基準を遵守するため、さらに厳しい自主管理値を設定し運転管理している。

法令の排水基準値及び鈴鹿川浄化対策促進協議会との覚書値

項 目	法令の排水基準値	覚 書 値
BOD (mg/ℓ)	10	10
COD (mg/ℓ)	—	20
SS (mg/ℓ)	40	10
全窒素 (mg/ℓ)	11	10
全りん (mg/ℓ)	2.2	—
pH (—)	5.8～8.6	5.8～8.6

イ 月別の水質管理状況

4月

日平均流入水量は、34,879m³で前月に比べ1,686m³増となった。この原因としては、各家庭での使用水量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であったが、第3週にて放流水の全りん濃度の最大値が0.8 mg/l程度と高かったため、生物反応槽末端へのPAC注入時間を延長した。

5月

日平均流入水量は、34,730m³で前月に比べ149m³減となった。この原因としては、降雨量が161.0mmと前月に比べ57mm減少したことによるものと考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であったが、放流水の全りん濃度が0.7 mg/l程度とゴールデンウィーク前後の週にやや高くなったが、翌週以降は安定した処理となった。

6月

日平均流入水量は、34,877m³で前月に比べ147m³増となった。この原因としては、降雨量が216.5mmと前月に比べ55mm増加しており、雨水の流入量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であった。

7月

日平均流入水量は、34,505m³で前月に比べ372m³減となった。降雨量が113.0mmと前月の半分程度あり、雨水の流入量が減少したことが考えられる。

処理水質は、安定しており、良好であった。

8月

日平均流入水量は、33,757m³で前月に比べ748m³減となった。この原因としては、降雨量が87.0mmと前月の8割弱であったこと、各家庭での使用量が減少したことが考えられる。

処理水質は、安定しており、良好であった。

9月

日平均流入水量は、33,705m³で前月に比べ52m³の微減となった。この原因としては、降雨量は174.5mmと前月の2倍程度であったが各家庭での使用水量が減少したことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であった。

10月

日平均流入水量は、33906m³で前月に比べ 200m³増となった。この原因としては、降雨量は 180.2mm と前月の差は殆ど無いが、各家庭での使用水量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であった。

11月

日平均流入水量は、33,907m³で前月に比べ 1m³微増となった。この原因としては、降雨量が 34.5mm と前月の 2 割程度であったが各家庭での使用水量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であった。

12月

日平均流入水量は、32,527m³ で前月に比べ 1,379m³ 減となった。この原因としては、降雨量が 56.0mm で前月の 1.7 倍程度であったことと各家庭での使用水量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であった。

1月

日平均流入水量は、31,300m³で前月に比べ 1,227m³減となった。この原因としては、降雨量が 0.5mm と少なかったことと各家庭での使用水量が減少したことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であったが、第 4 週にて放流水の全りん濃度の最大値が 0.7 mg/l程度と高かったため、生物反応槽末端への PAC 注入時間を延長した。

2月

日平均流入水量は、32,100m³で前月に比べ 800m³増となった。この原因としては、降雨量が 82.5mm と増えたことが考えられる。

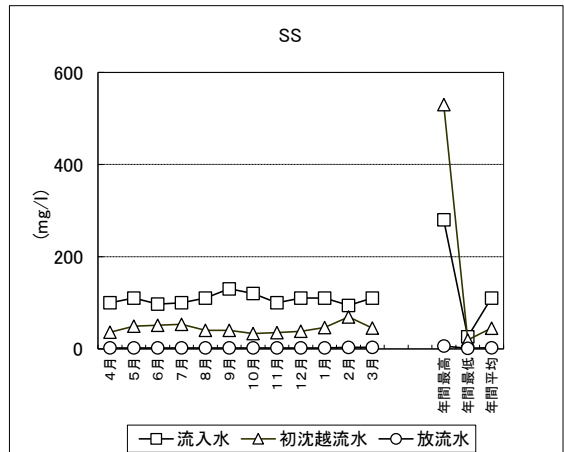
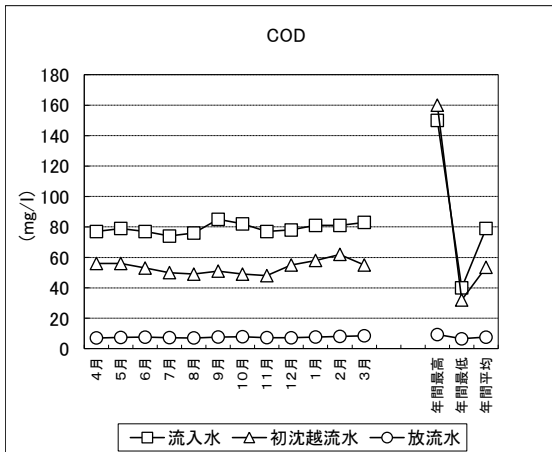
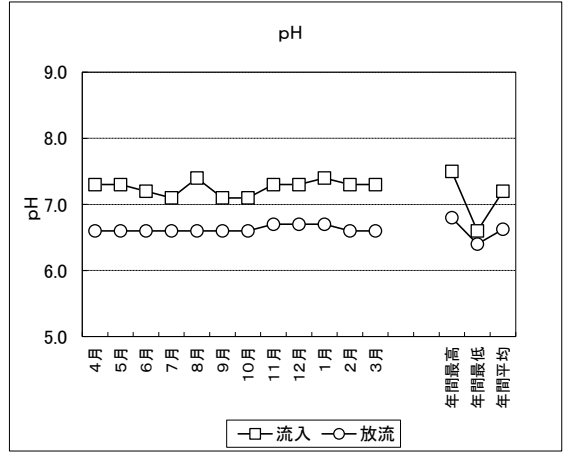
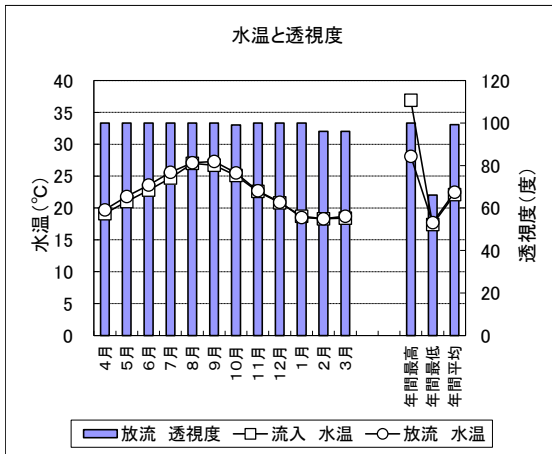
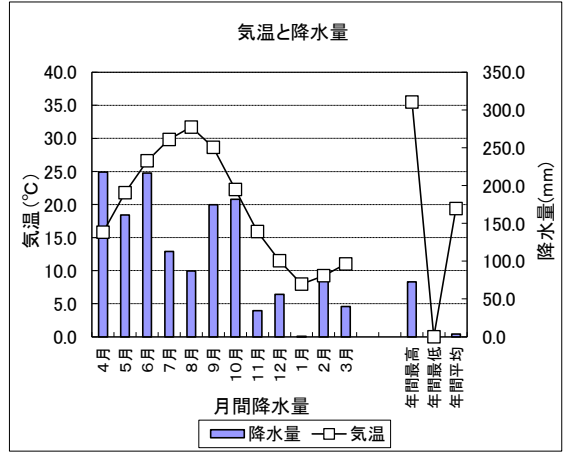
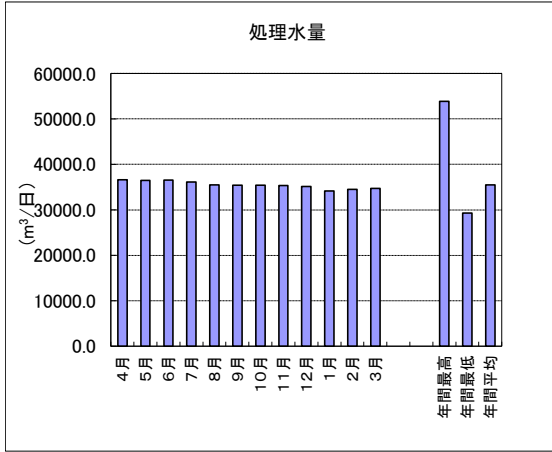
処理水質は、おおむね安定しており、良好であったが、第 4 週にて放流水の全りん濃度の最大値が 0.7 mg/l程度と高かったため、生物反応槽末端への PAC 注入時間を延長した。

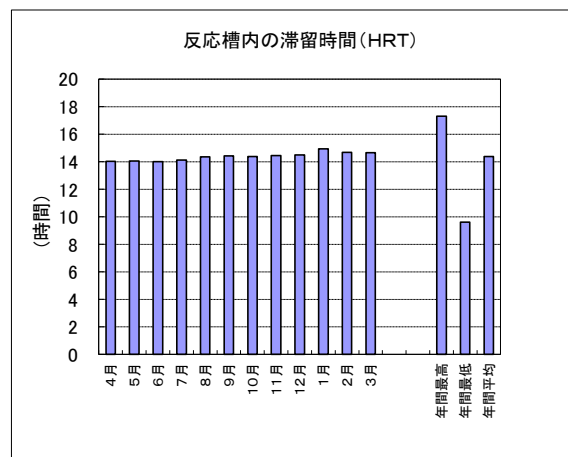
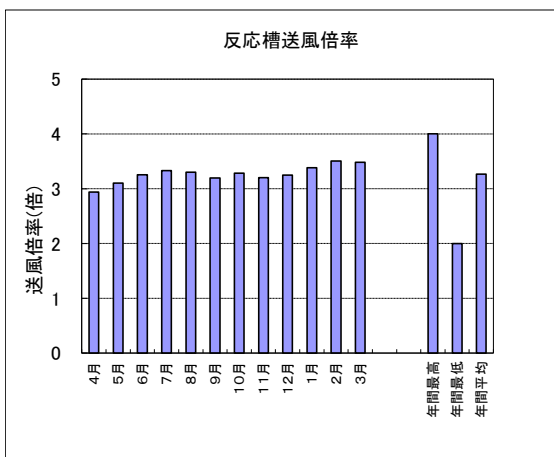
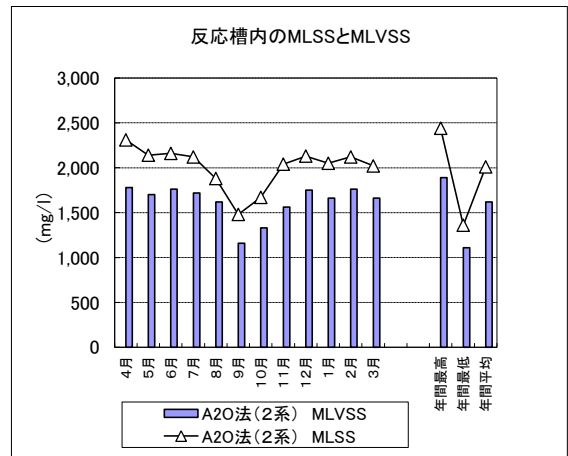
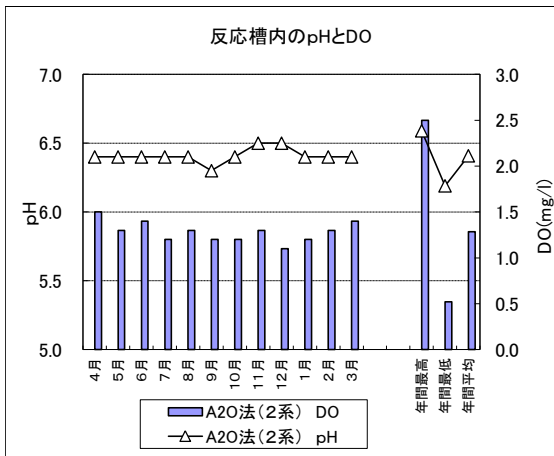
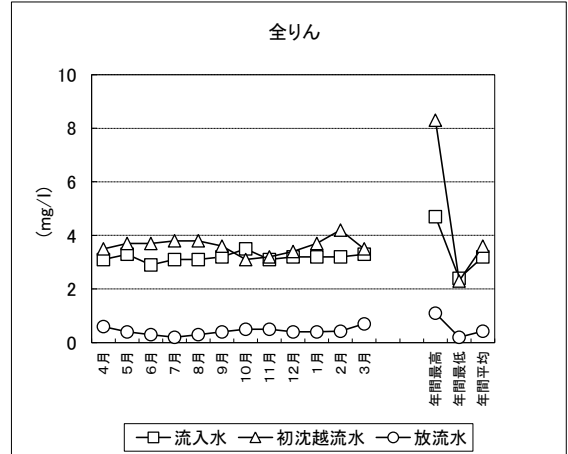
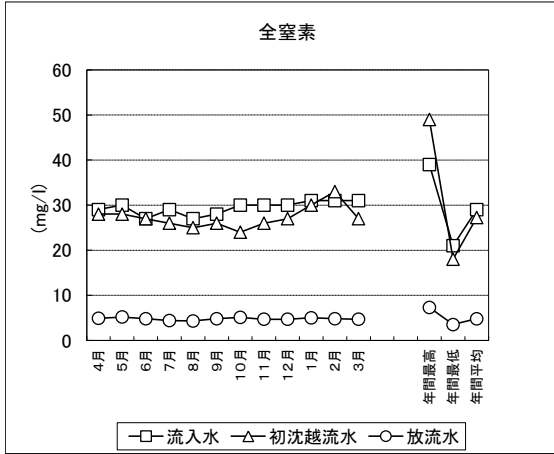
3月

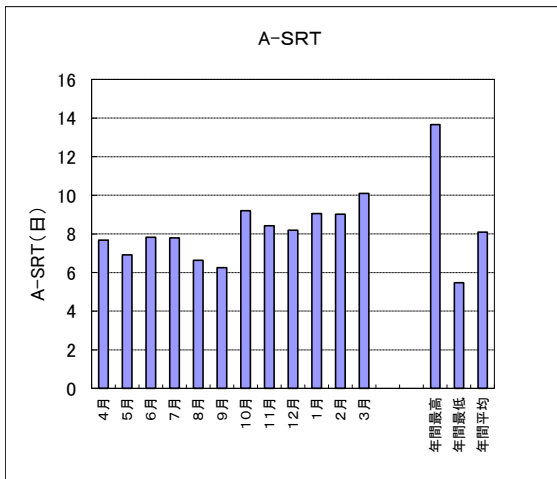
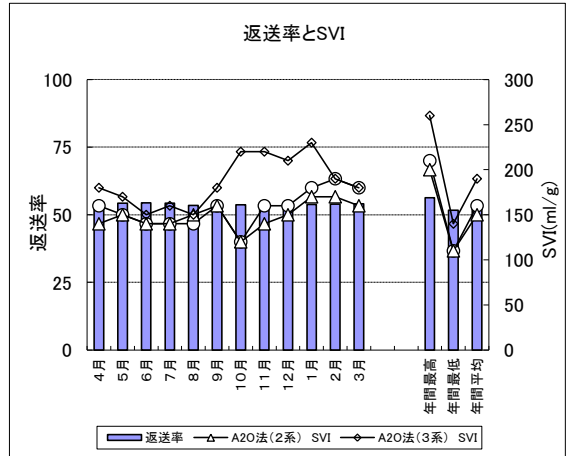
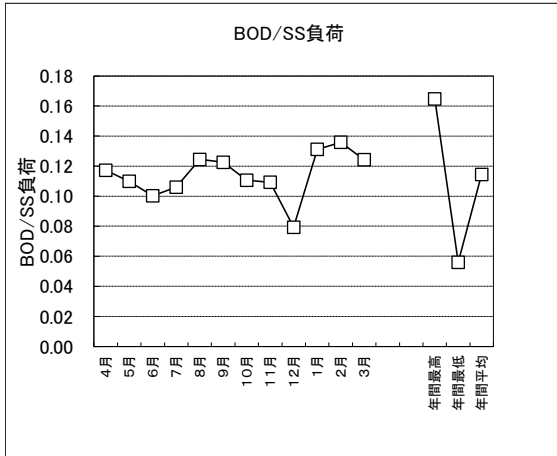
日平均流入水量は、33,193m³で前月に比べ 1093m³増となった。この原因としては、降雨量が 40.0mm と前月比で半分であったが各家庭での使用水量が増えたことが考えられる。

処理水質は、おおむね安定しており、良好であったが、第 3 週・第 4 週にて放流水の全りん濃度の最大値がそれぞれ 0.9mg/L、1.1 mg/l程度と高かったため、生物反応槽末端への PAC 注入時間を延長した。

本年度は、当浄化センターでは、平成 22 年 10 月から、海苔養殖への影響を極力抑えるため、紫外線殺菌を開始し、次亜塩素酸ソーダの添加を停止しました。







備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月間平均値の平均値。
5. 降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

(7) 汚水処理水量

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
汚水処理水量	流入水量 [m ³]	1,044,261	1,073,899	1,044,264	1,067,455	1,044,282	1,009,075	1,048,819	1,014,998	1,039,114	1,006,571	923,386	1,026,551	12,342,674	—
	日平均流入水量 [m ³ /日]	34,809	34,642	34,809	34,434	33,687	33,636	33,833	33,833	33,520	32,470	32,978	33,115	405,764	年平均 33,816
	日最大流入水量 [m ³ /日]	48,972	51,611	42,165	38,472	36,961	41,480	39,612	42,261	34,713	34,444	35,642	35,239	481,572	年最大 51,611
	晴天時流入水量 [m ³]	671,820	819,613	611,977	793,526	799,063	661,998	704,130	904,827	804,155	976,470	652,186	825,172	9,224,937	—
	晴天時日数 [日]	20	24	18	23	24	20	21	27	24	30	20	25	276	—
	晴天時平均 [m ³ /日]	33,591	34,151	33,999	34,501	33,294	33,100	33,530	33,512	33,506	32,549	32,609	33,007	401,349	年平均 33,424
	晴天時最大 [m ³ /日]	41,831	39,705	36,838	38,472	36,307	37,690	37,188	36,603	34,713	34,444	34,493	34,244	442,528	年最大 41,831
	雨天時流入水量 [m ³]	372,440	254,286	432,287	273,929	245,219	347,077	344,689	110,171	234,959	30,101	271,200	201,379	3,117,737	—
	雨天時日数 [日]	10	7	12	8	7	10	10	3	7	1	8	6	89	—
	雨天時平均 [m ³ /日]	37,244	36,327	36,024	34,241	35,031	34,708	34,469	36,724	33,566	30,101	33,900	33,563	415,897	年平均 35,031
	雨天時最大 [m ³ /日]	48,972	51,611	42,165	36,929	36,961	41,480	39,612	42,261	34,651	30,101	35,642	35,239	475,624	年最大 51,611
	返流水量 [m ³]	55,041	56,583	51,327	52,205	56,086	53,782	49,569	45,757	49,694	51,614	43,823	49,303	614,784	年平均 51,232
放流水量 [m ³]	984,039	1,006,218	980,933	995,124	975,548	985,012	1,057,390	1,041,736	1,046,453	1,010,440	938,972	1,034,671	12,056,536	—	
日平均放流水量 [m ³ /日]	32,801	32,459	32,698	32,101	31,469	32,834	34,109	34,725	33,757	32,595	33,535	33,376	396,458	年平均 33,032	
日最大放流水量 [m ³ /日]	45,258	47,557	39,062	35,904	34,603	41,882	39,917	43,195	35,412	34,135	36,876	36,292	470,093	年最大 47,557	
再生利用水 [m ³]	174,990	160,453	168,593	126,738	113,691	160,388	167,839	162,165	170,967	173,827	159,694	159,919	1,899,264	—	

(8) 電力・水道・薬品・燃料

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	日平均
薬品・水処理	次亜塩素酸ナトリウム (放流水) [%]	667.0	1,881.1	4,041.3	4,704.1	6,217.7	5,359.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22,870.8	62.7
	次亜塩素酸ナトリウム (急速ろ過) [%]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	次亜塩素酸ナトリウム (再生水) [%]	0.0	0.0	88.0	186.2	199.5	183.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	656.9	1.8
	ポリ塩化アルミニウム [%]	12,940	13,140	9,200	7,780	10,000	10,380	11,020	11,260	11,560	10,800	10,960	1,700	120,740	330.8
	予備欄	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
薬品・汚泥処理	高分子凝集剤 (浮上濃縮用) [kg]	340.01	388.58	366.67	374.64	419.22	405.77	239.56	219.98	266.48	300.27	259.83	270.93	3,851.95	10.55
	高分子凝集剤 (汚泥脱水用) [kg]	956.42	979.04	918.44	922.08	944.18	920.20	842.74	871.36	935.82	1,000.50	897.32	997.70	11,185.80	30.65
	ポリ硫酸第2鉄 [kg]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	消臭剤 [kg]	893	935	1,093	1,023	1,057	912	955	922	988	935	763	809	11,285	30.9
	起泡助剤 [kg]	68.80	78.50	73.90	76.00	87.80	86.80	47.30	42.60	48.90	69.10	61.30	62.20	803.2	2.2
消臭剤 (重力濃縮) [kg]	611	579	605	573	650	574	645	555	577	587	589	647	7,192	19.7	
薬品・脱臭	硫酸 [%]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	苛性ソーダ [%]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	予備欄	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
電力 [kWh]	603,500	602,300	568,900	631,100	628,000	599,300	595,700	561,801	587,000	609,300	536,400	592,400	7,115,701	19495.1	
水道 [m ³]	192.3	197.8	237.5	306.0	331.4	248.9	144.7	138.9	135.7	122.4	103.0	116.1	2,274.7	6.2	
重油 [%]	105	104	5,166	98	98	94	107	94	121	128	225	55	6,395	17.5	
軽油 [%]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
灯油 [%]	790	210	400	1,140	1,390	880	10	250	750	1,490	1,140	1,230	9,680	26.5	

(9) 汚泥脱水処理

(注) 不用欄の削除不可

項 目		月												計	日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
汚泥脱水処理	脱水処理量 [m ³]	4,963.4	4,829.8	4,710.1	4,693.2	4,628.8	4,626.3	4,145.7	4,011.6	4,421.0	4,423.7	4,209.1	4,341.6	54,004.3	148.0
	濃縮汚泥濃度日平均 [%]	3.93	4.10	3.96	3.98	4.03	3.93	4.04	4.18	4.17	4.44	4.20	4.50		年平均 4.12
	脱水機運転時間 [h:m]	648:53	645:31	596:59	583:46	579:24	561:34	532:52	530:26	580:14	652:59	594:14	681:21	7188:13	19:41
	ケーキ発生量 [t]	738.20	720.10	637.10	646.30	656.60	632.60	575.70	605.40	691.00	726.50	632.00	673.00	7,934.50	21.74
	ケーキ含水率日平均 [%]	75.0	74.1	73.8	73.5	74.2	74.1	73.8	74.1	75.0	74.8	74.9	73.4		年平均 74.2
し	しさ発生量 [t]	2.38	2.30	2.40	2.46	2.44	2.03	2.50	2.26	2.26	2.36	2.10	2.44	27.93	0.08
汚泥処分	汚泥処分合計量 [t]	751.94	730.00	645.94	662.10	670.55	640.19	589.04	609.99	712.93	741.81	640.88	657.97	8,053.34	22.06
	セメント原料化 [t]	751.94	730.00	645.94	662.10	670.55	640.19	589.04	609.99	712.93	741.81	640.88	657.97	8,053.34	22.06
	焼却 [t]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.0
し	しさ処分合計量 [t]	0.57	0.25	0.00	0.33	1.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	4.31	0.0
	焼却処分 [t]	0.57	0.25	0.00	0.33	1.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.48	4.31	0.0

(10) 施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工事名称	整備内容
1	南部浄化センターⅡ系NO.3循環ポンプ修理工事	ハネグлма、ソコフタその他消耗部品取替
2	南部浄化センターNO.1主ポンプ分解・点検工事	分解・点検及びボールベアリング、オイルシールその他消耗部品の取替
3	Ⅱ系初沈・終沈、Ⅲ系終沈汚泥掻寄機駆動装置分解点検工事	Ⅱ系初沈・終沈、Ⅲ系終沈(上下)の掻寄機の駆動装置を分解・点検を実施し機能回復と信頼性向上を図る
4	Ⅲ系返送汚泥、余剰汚泥ポンプ分解・点検工事	分解・点検及びベアリング、オイルシールその他消耗部品の取替
5		
6		
7		
8		
9		
10		

設備故障状況及び処置概要		
年月	名称及びその状況	処置方法
22 4	全りん全室素自動測定装置 試薬ポンプ不良	駆動用モーター減速機部 部品交換
	NO3汚泥脱水機故障	高圧ベルト緊張用油圧シリンダー交換、テンションブラケット、蛇行修正ロールブラケット用軸受交換、その他消耗品類交換
22 5	NO2汚泥脱水機異音(加圧バンドガイドローラー軸受部)	軸受部開放点検・整備及び部品交換予定(6月) ※現在運転停止、異音はバンドの滑りによるものであり、そのまま運転再開(7月14日)
22 6	電気棟受電電力量I/Oモジュール(APIIA)不良	使用していないI/Oモジュールと取替。予備品なし購入手続き中
22 6	脱水機棟交流無停電電源装置用冷却ファン故障	冷却ファンを購入。取替する。手配中。
22 6	電気棟I/Oモジュール(AAIIA)不良	予備品モジュールと交換。
22 7	管理本館1階作業員控室ルームエアコン動作不良	新品に交換
22 7	NO.4ケーキコンベアオイル汚れ	オイル交換実施、規定時間まで経過観察
22 7	アクティブフィルター故障	再起動により復旧
22 8	NO2脱水機異音、温度異常(脱水ローラー軸受部)	軸受部への給脂による応急措置
22 8	NO1-2終沈汚泥流量計動作不良(電磁流量計変換器)	点検・清掃実施
22 8	管理本館1階作業員事務所空調機不良	加湿機能停止による応急措置実施 ※水質試験室も同症状あり
22 8	管理本館 MGPコントローラー不具合(表示ランプ消灯、操作不能)	電源のON/OFF操作によるリセット作業での仮復旧実施
22 9	機械濃縮棟 NO.3起泡剤注入ポンプ吐出不良	ダイヤフラム、シリンダヘッド、バルブシート等交換
22 9	No.1余剰汚泥流量計故障	余剰汚泥引抜流量計の変換器の表示不良、引抜量はポンプ運転時間で制御中
22 10	NO.5反応槽DO計故障(ゼロスパン校正不可)	現測定値異常なし、年度点検での修理まで継続使用
22 10	Ⅲ系水処理電気室交流無停電電源装置故障	冷却ファン速度低下。仮復旧後、正常作動したため経過観察とした。
22 11	濃縮棟汚泥スクリーン過トルク	経年による軸受等の劣化と考えられる。(スクリーン取付部の調整実施)
22 11	濃縮棟NO.1-1汚泥引抜弁汚泥漏れ	弁体、弁座及びグラウンドパッキン等分解・点検を行う。
22 11	管理棟NO.2床排水ポンプ用ブレーカー不良	経年劣化で取替を行う。(新品のブレーカと交換)
22 11	管理本館1F浴室給湯器給湯不良	給湯器の交換を実施予定(手続き中)
22 11	中央CRT表示不良	修理か、取り換えが必要か調査中。
22 11	NO.2-2送風機潤滑油冷却器垂鉛棒消耗	垂鉛棒交換予定。(手続き中)
22 11	SP棟スクリーンカス脱水機プレッサー動作不良	油圧シリンダーの可能性あり、経過観察(次年度オーバーホール)
22 12	NO.2反応槽送風量指示値異常	送風量検出器(差圧発信機故障)の修理を行う。
22 12	NO.1エアタン後段DO計ケーブル損傷	計装・監視設備点検業務において修理する。(ケーブル交換)
22 12	SP棟シーケンスコントローラ通信装置故障	代替品に交換

項目 月	NH ₄ ⁺ -N		NO ₂ ⁻ -N		NO ₃ ⁻ -N		全りん		PO ₄ ³⁻ -P		色度		濁度		陰イオン 界面活性剤		
	mgN/l		mgN/l		mgN/l		mg/l		mgP/l		度		度		mg/l		
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	
4月	21	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.4	3.1	0.6	1.5	0.4	140	20	90	4	5.6	<0.1	
5月	20	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	4.5	3.3	0.4	1.5	0.3	120	18	88	2	4.6	<0.1	
6月	19	0.6	<0.1	0.2	<0.1	3.6	2.9	0.3	1.3	0.2	130	18	98	2	4.5	<0.1	
7月	18	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	3.3	3.1	0.2	1.5	0.1	140	19	74	2	3.8	<0.1	
8月	18	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	3.3	3.1	0.3	1.5	0.3	130	18	63	2	3.4	<0.1	
9月	18	0.8	<0.1	0.1	<0.1	3.4	3.2	0.4	1.4	0.2	130	22	74	2	3.0	<0.1	
10月	20	0.3	<0.1	0.1	<0.1	4.1	3.5	0.5	1.7	0.4	100	22	64	2	3.9	<0.1	
11月	20	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3.9	3.1	0.5	1.6	0.2	120	21	54	2	3.7	<0.1	
12月	19	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	3.5	3.2	0.4	1.6	0.2	140	20	66	2	3.8	<0.1
1月	22	0.3	<0.1	<0.1	<0.1	4.1	3.2	0.4	1.6	0.2	150	24	80	2	4.1	<0.1	
2月	21	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	3.7	3.2	0.4	1.9	0.2	150	22	76	3	3.9	<0.1	
3月	21	<0.1	0.3	<0.1	<0.1	3.8	3.3	0.7	1.8	0.4	140	25	72	3	3.8	<0.1	
最高	23	1.6	2.0	0.5	0.6	5.1	4.7	1.1	2.4	0.8	150	25	120	5	6.0	<0.1	
最低	14	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2.4	0.2	<0.1	<0.1	100	17	54	2	2.4	<0.1	
平均	20	0.3	<0.1	<0.1	<0.1	3.8	3.2	0.4	1.6	0.3	130	21	75	2	4.0	<0.1	
測定回数	92	98	90	96	90	96	95	101	90	96	22	22	22	22	24	24	
放流基準値		—		—		—		2.2 *2.0		—		—		—		—	

項目 月	n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	22	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
5月	18	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
6月	34	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
7月	40	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
8月	25	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
9月	16	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
10月	19	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
11月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
12月	33	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
1月	51	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
2月	44	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
3月	34	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最高	74	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最低	8	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
平均	30	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		鉱物油 1 動植物油 10		1		1		5		10		10		2		0.1

項目 月	1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ふつ素	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
5月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
6月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
7月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
8月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
9月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
10月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
11月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
12月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
1月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
2月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
3月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最高	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最低	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
平均	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		0.06		0.02		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		8

項目 月	ほう素		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計	
	mg/l		mg/l	
区分	流入	放流	流入	放流
4月	<1	<1	8.4	4.0
5月	<1	<1	8.7	4.0
6月	<1	<1	6.8	3.3
7月	<1	<1	7.0	3.0
8月	<1	<1	6.8	2.4
9月	<1	<1	7.0	3.2
10月	<1	<1	7.8	3.5
11月	<1	<1	7.8	3.0
12月	<1	<1	7.6	3.0
1月	<1	<1	8.3	3.4
2月	<1	<1	7.8	3.7
3月	<1	<1	8.0	3.2
最高	<1	<1	9.2	4.4
最低	<1	<1	6.0	2.4
平均	<1	<1	7.7	3.3
測定回数	24	24	24	24
放流基準値		10		100

備考

1. 数値は各月の平均値である。
 2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出してある。
 3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
 4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
 5. 「平均」は月平均の平均値である。
 6. 放流基準値の数値には、下水道法に基づく計画放流水質が含まれている。
 7. 平成22年10月1日より紫外線殺菌を開始し、次亜塩素酸ソーダの注入を停止した。
- 注) 全窒素および全りんについては、三重県の定める伊勢湾富栄養化対策指導指針に基づき、*に示す管理目標値が設定されている。また、SS、

イ. 生物反応槽試験

1系:2段嫌気・好気処理

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/l	%	mg/l	ml/g	mg/l	%	mg/l·h	mg/g·h
4月	19.7	6.3	1.5	31	2,030	160	1,660	82	12	5.8
5月	21.5	6.3	1.5	27	1,820	150	1,490	83	10	5.6
6月	23.2	6.3	1.5	24	1,720	140	1,340	84	12	7.5
7月	25.4	6.3	1.1	25	1,750	140	1,480	82	13	7.3
8月	27.0	6.3	1.1	24	1,640	140	1,290	81	12	7.9
9月	27.3	6.0	1.2	25	1,590	160	1,240	80	12	7.8
10月	25.8	6.3	1.1	22	1,460	120	1,350	83	16	11.0
11月	23.2	6.4	1.2	34	2,180	160	1,680	82	9	4.4
12月	21.2	6.4	1.2	37	2,300	160	1,950	81	14	5.6
1月	19.0	6.4	1.2	40	2,300	180	1,840	82	11	4.7
2月	18.6	6.4	1.4	44	2,310	190	1,870	85	12	5.6
3月	18.9	1.3	1.3	39	1,970	180	1,770	81	14	6.4
最高	27.8	6.5	2.9	56	2,480	210	2,010	87	23	16
最低	18.0	1.2	<0.5	16	1,340	110	1,090	79	8.6	4.2
平均	22.6	6.3	1.3	31	1,970	160	1,580	82	12	6.6
測定回数	150	235	98	235	98	98	23	23	23	23

2系:嫌気—無酸素—好気処理

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/l	%	mg/l	ml/g	mg/l	%	mg/l·h	mg/g·h
4月	19.6	6.4	1.5	33	2,310	140	1,780	84	16	7.2
5月	21.4	6.4	1.3	31	2,140	150	1,700	83	9	4.4
6月	23.3	6.4	1.4	30	2,160	140	1,760	84	16	7.6
7月	25.4	6.4	1.2	30	2,120	140	1,720	83	20	9.4
8月	27.0	6.4	1.3	28	1,880	150	1,620	80	16	8.0
9月	27.4	6.3	1.2	24	1,480	160	1,160	79	12	7.8
10月	25.8	6.4	1.2	20	1,670	120	1,330	83	10	6.0
11月	23.0	6.5	1.3	30	2,040	140	1,560	83	11	5.9
12月	21.1	6.5	1.1	31	2,130	150	1,750	81	13	5.8
1月	18.9	6.4	1.2	35	2,050	170	1,660	82	10	4.8
2月	18.5	6.4	1.3	37	2,120	170	1,760	82	11	5.3
3月	18.8	6.4	1.4	34	2,020	160	1,660	81	13	6.1
最高	27.8	6.6	2.5	42	2,440	200	1,890	85	26	12.0
最低	17.9	6.2	0.5	18	1,360	110	1,110	78	9.0	4.4
平均	22.5	6.4	1.3	30	2,010	150	1,620	82	13	6.5
測定回数	150	235	98	235	98	98	23	23	23	23

3系:嫌気—無酸素—好気処理(深層式)

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C	—	mg/l	%	mg/l	ml/g	mg/l	%	mg/l·h	mg/g·h
4月	19.6	6.4	1.7	38	2,110	180	1,830	84	16	7.4
5月	21.5	6.4	1.9	34	2,060	170	1,720	84	19	9.4
6月	23.2	6.4	1.1	32	2,060	150	1,710	84	15	7.4
7月	25.4	6.4	1.2	36	2,180	160	1,800	84	16	7.2
8月	27.0	6.4	1.0	30	2,080	150	1,740	82	16	7.8
9月	27.4	6.4	1.3	32	1,830	180	1,460	81	12	6.4
10月	25.8	6.4	1.3	40	1,820	220	1,430	83	10	5.6
11月	23.2	6.5	1.6	45	2,030	220	1,600	82	8	3.9
12月	21.3	6.5	1.1	45	2,100	210	1,640	81	12	6.0
1月	19.1	6.5	1.2	48	2,250	230	1,860	82	27	12.0
2月	18.7	6.5	1.4	44	2,290	190	1,850	82	11	4.9
3月	19.0	6.5	1.4	42	2,290	180	1,930	82	16	6.8
最高	27.8	6.6	2.8	56	2,430	260	1,970	85	44	20.0
最低	18.1	6.3	<0.5	28	1,570	140	1,300	79	6.4	3.2
平均	22.6	6.4	1.4	39	2,090	190	1,710	83	15	7.1
測定回数	150	235	98	235	99	99	23	23	23	23

ウ. 返送汚泥試験

1系、2系共通

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	℃	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	19.8	6.5	99	6,770	150	5,400	82
5月	21.6	6.5	99	6,150	170	4,450	83
6月	23.8	6.5	98	5,680	170	4,820	84
7月	25.7	6.5	98	5,810	170	4,620	82
8月	27.2	6.5	96	5,070	190	4,360	82
9月	27.5	6.5	94	4,480	210	3,520	80
10月	25.9	6.5	92	4,820	190	3,670	82
11月	23.2	6.6	97	5,910	160	4,820	82
12月	21.0	6.6	97	6,090	160	4,620	81
1月	18.9	6.6	98	6,030	160	4,950	82
2月	18.5	6.5	99	5,900	170	4,730	82
3月	18.8	6.5	99	6,040	160	5,070	82
最高	27.9	6.6	100	7,810	240	5,630	84
最低	18.2	6.4	89	3,880	130	3,230	80
平均	18.8	6.5	97	5,730	170	4,590	82
測定回数	98	98	98	98	98	25	23

3系

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	℃	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	19.9	6.4	100	5,750	170	5,050	84
5月	21.9	6.4	100	5,810	180	5,040	83
6月	23.7	6.4	98	5,360	190	4,560	84
7月	25.6	6.4	99	5,640	180	4,860	84
8月	27.2	6.4	99	5,760	170	4,770	82
9月	27.6	6.4	99	4,880	200	3,860	82
10月	25.9	6.4	100	5,070	200	3,750	82
11月	23.4	6.5	100	6,100	170	5,190	82
12月	21.1	6.5	100	6,300	160	4,980	82
1月	19.0	6.5	100	6,190	170	4,670	82
2月	18.5	6.4	100	6,220	160	5,420	84
3月	18.8	6.5	100	6,840	150	6,020	84
最高	27.9	6.5	100	7,970	270	6,600	85
最低	18.1	6.3	94	3,770	130	3,100	81
平均	22.7	6.4	100	5,830	180	4,850	83
測定回数	98	98	98	98	98	25	23

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
3. 「平均」は月平均値の平均値である。
4. 1系水処理施設の半分は本年度休止している。

エ. 脱水汚泥試験
 (ア)含有量試験

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/kg-乾	mg/kg-乾	%	%	J/g
5月	51	20	73.6	87.6	18,000
8月	57	19	73.5	87.4	18,000
11月	61	18	73.2	88.1	18,000
2月	53	19	74.3	88.6	20,000
最高	61	20	74.3	88.6	20,000
最低	51	18	73.2	87.4	18,000
平均	56	19	73.7	87.9	18,500
測定回数	4	4	4	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(イ)溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
7月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
10月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
1月	検出せず	<0.0005	<0.01	0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ ⁺
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
4月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
7月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
10月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
1月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

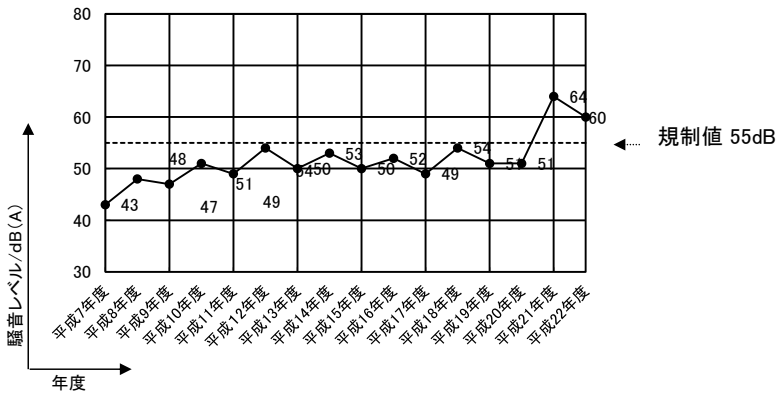
項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
4月	<0.01	<0.01
7月	<0.01	<0.01
10月	<0.01	<0.01
1月	<0.01	<0.01
最高	<0.01	<0.01
最低	<0.01	<0.01
平均	<0.01	<0.01
測定回数	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査

ア. 騒音調査(夜間)



備考

- 1 最高値を表示(2地点×4回/年)
- 2 基準値は破線で表示
- 3 平成21年度では風雑音の影響を受けた。
- 4 平成22年度では虫の鳴き声の影響を受けた。

イ. 悪臭調査

(ア) 臭覚測定

項目	年度															
	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
臭気指数	< 10	11	14	< 10	< 10	15	19	17	20	17	14	< 10	< 10	11	18	< 10
臭気濃度	< 10	13	27	< 10	< 10	32	88	49	97	52	25	< 10	< 10	13	69	< 10
臭気強度	0	0	1	0	1	3	2.3	0	2.4	1.6	3.2	1.3	0	1	2	1

備考

- 1 最高値を表示(6地点×4回/年)

(イ) 機器試験

(単位: ppm)

項目	年度															
	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
アンモニア	< 0.1	< 0.1	0.6	< 0.1	< 0.1	0.2	0.82	< 0.05	0.05	0.07	0.12	0.12	0.06	0.10	0.08	0.06
メチルメルカプタン	< 0.0001	< 0.0001	< 0.0001	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0015	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0003	< 0.0002	0.0004	0.0002	< 0.0002
硫化水素	< 0.0006	0.0021	< 0.0006	< 0.001	0.004	0.010	0.003	0.008	< 0.001	0.001	0.002	0.004	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001
硫化メチル	< 0.0001	< 0.0001	< 0.0001	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0011	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0007	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
二硫化メチル	< 0.0001	< 0.0001	< 0.0001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.002	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001

備考

- 1 最高値を表示(6地点×4回/年)
- 2 他に放流水の悪臭4物質試験を実施しているが、すべて報告下限値未満であった。

ウ. 水質調査

生活環境項目 (単位:表示のないものはmg/l)

項目	年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
透視度 (cm)		>30	>30	>30	>30	>30	>30	9	>30	-	>30	>30	>30	>50	>50	>30	>30
pH (-)		7.7~8.3	7.8~8.8	7.4~8.3	7.1~7.8	7.2~7.9	7.3~7.9	7.1~7.8	7.1~7.5	7.4~8.2	7.2~8.5	7.3~7.8	7.1~7.7	7.0~7.3	7.0~7.8	6.8~7.8	7.1~8.0
溶存酸素		10.2~10.6	6.4~11.6	8.0~10.9	6.0~9.4	5.8~8.9	8.2~9.6	5.6~9.5	5.6~9.5	6.3~9.8	5.9~13.0	6.7~9.9	6.1~9.4	5.9~10.0	6.6~9.9	6.6~13.2	6.3~11.0
COD (BOD)		4.2 (2.8)	4.0 (2.8)	3.1 (1.9)	5.3 (1.2)	5.9 (1.9)	4.4(1.7)	6.4(2.8)	6.2(1.5)	4.9(1.5)	5.3(2.0)	6.0(1.0)	5.5(0.8)	6.9(1.2)	6.8(1.7)	6.0(1.0)	15(3.3)
全窒素		3.1	6.0	5.4	4.5	2.3	2.4	3.5	3.7	3	2.8	2.9	3.3	5.5	4.3	3.3	2.4
全りん		0.20	0.16	0.10	0.13	0.52	0.46	0.57	0.40	0.14	0.19	0.25	0.32	0.40	0.11	0.14	0.89
n-ヘキサン抽出物質		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
塩素イオン		900	9,400	11,000	11,000	12,000	12,000	11,000	10,000	10,000	8,000	12,000	15,000	8,500	10,000	7,100	9,300
陰イオン界面活性剤		0.05	0.02	0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.12	<0.02	0.04	0.05	0.02	<0.02	0.03	0.03	0.03
大腸菌群数 (MPN/100ml)		350	3,300	7,900	7,900	5,400	9,200	14,000	7,900	24,000	11,000	17,000	7,900	9,200	7,900	17,000	360

備考

- 他に健康項目26項目(平成12年度までは23項目)の調査を実施している。
- 放流口下流最寄地点の年間最高値。ただし透視度は年間最低値、pHおよび溶存酸素は年間の結果を範囲で記載した。他に河川2カ所および海域15カ所を加えた計5地点を年間6回調査した。

エ. 底質調査

乾泥あたり含有量 (単位:表示のないものはmg/kg)

項目	年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
C O D (mg/g)			14	13	13	15	10	14	27	28	27	15	26	20	25	25	17
n-ヘキサン抽出物質			50	120	1,000	1600	1200	<50	1900	280	1400	1500	1600	300	720	1200	900
カドミウム			0.26	0.14	<0.1	<0.1	0.1	0.15	0.2	0.4	0.4	0.4	0.5	0.1	0.2	0.8	0.1
全シアン			<0.2	<0.2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<0.1
鉛			35	22	17	19	16	29	35	24	34	24	19	29	33	32	11
六価クロム			<2	<2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
砒素			14	11	4.4	2.4	2.7	11	11	7.6	5.8	5.9	7.0	12	7.4	9.7	5.5
総水銀			31	0.25	0.18	0.28	0.2	0.2	0.15	0.24	0.36	0.19	0.16	0.40	0.34	0.17	0.14
アルキル水銀			<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル			<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)			1.7	1.90	1.5	2.2	1.1	1.9	2.7	1.7	2.6	2.1	2.4	1.8	1.7	2.9	3.6
全りん (mg/g)			0.71	0.68	0.11	0.1	0.02	0.7	0.8	0.74	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	1.0	0.7
硫化物 (mg/g)			0.67	0.6	0.92	1.2	1.1	0.85	0.14	0.44	1.6	0.53	0.87	0.19	1.1	0.34	0.33
含水率 (%)			43	62	40.5	45.3	41	43	55	37.6	53	51	55	46.1	43.5	58.9	52
強熱減量 (%)			13	13	6.6	9.4	6.3	7.3	11	4.7	9.2	9.0	11	8.8	7.6	12	9

備考

- 他に溶出試験として7項目の調査を実施しており、No.4-3にて鉛が0.01mg/L検出された。他は定量下限未満であった。
- 最高値を表示(3地点×1回/年)
- 平成7年度は、海域1地点のみであるので省略